

報道関係者各位

若手アーティストの作品と建築資材の“足場”が再びコラボレーション 京都市京セラ美術館にて展示

2025年2月17日

株式会社 北梅組

株式会社 杉孝

建築工事・土木工事などの総合建築事業を展開する株式会社北梅組（本社：大阪府大阪市、代表取締役：北浦雄之助）と、仮設機材レンタル事業を行う株式会社杉孝（SUGIKO）（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：杉山亮）は、若手現代アーティストREMAとの3度目のコラボレーションを実施。本プロジェクトは、2025年2月11日（火・祝）から2月16日（日）まで京都市京セラ美術館 2F 陳列室 211 で開催される「蟄伏：グローバル若手アーティストたち」にて発表されました。

今回の作品では、REMAがタイ・プーケットに恒久設置を予定している高さ7メートルの大型彫刻の"The Woman with Terrestrial Malady"の一部を、日本で初披露します。「未来の人間のビジョン」をテーマに、彫刻と周囲の建築資材による足場を組み合わせたインスタレーションを創出。

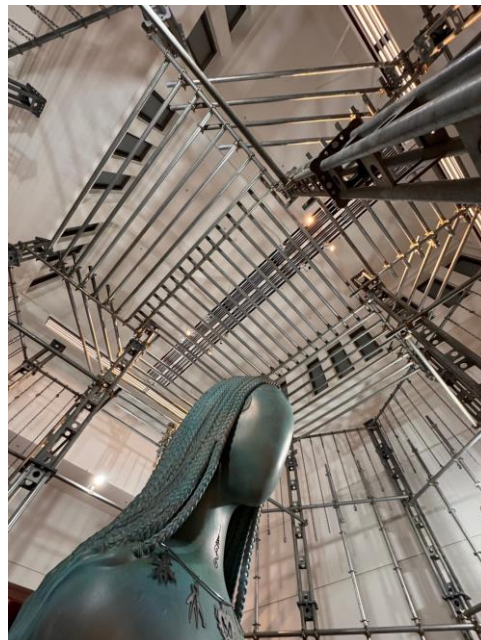
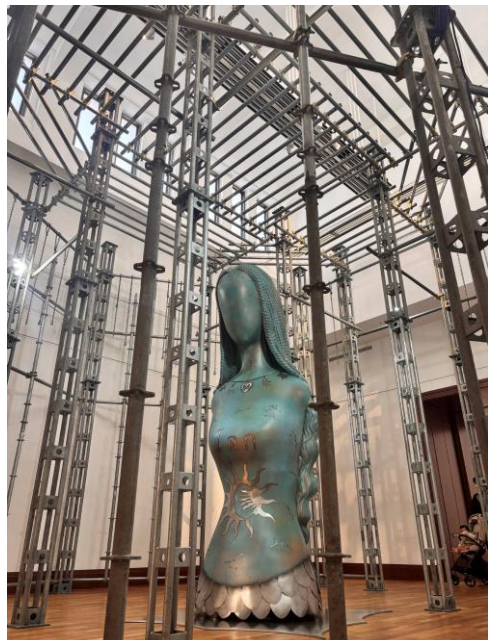
北梅組は、建築資材を用いた芸術表現の実現に向けて鶯会[※]の若手社員を招集し、鳶職人の提供と足場の作図提供、SUGIKOは資材の提供および構造検討を担います。

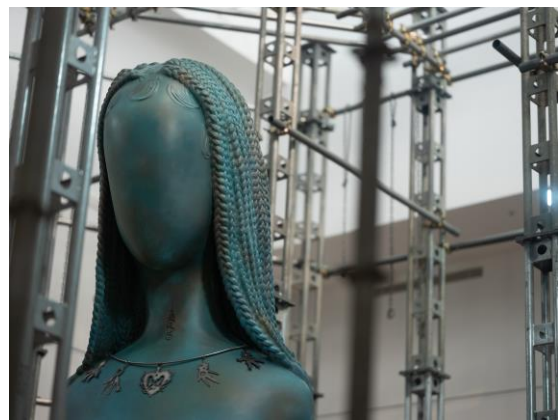
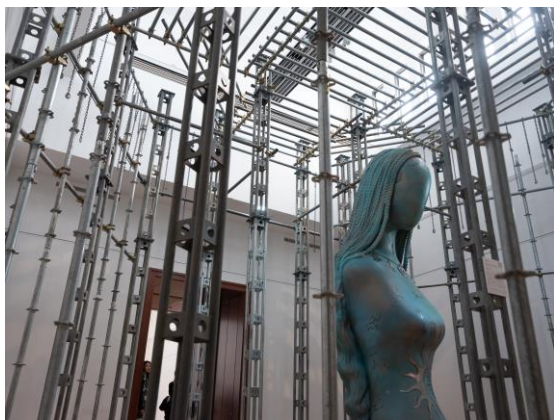
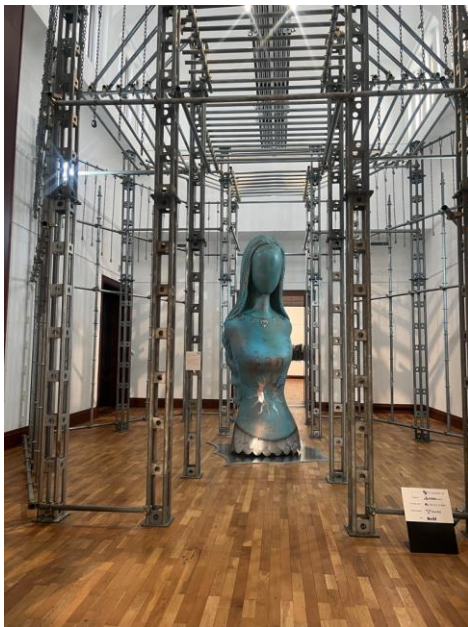
足場は本来、建築現場を支える構造物ですが、REMAの作品においては新たな芸術的表現の一要素として活用されます。建築の枠を超えた創造の場として足場を再構築し、単なるサポートではなく、作品の一部としての美学を持たせることが本プロジェクトの特徴です。

北梅組とSUGIKOは、これからも若手アーティストの創作活動を支援し、建築資材を活かした新たな価値の創出に挑戦していきます。

※1 鶯会・同社の災害防止協議会にて1941年の創業以来培った技術力と組織力を、次の世代に継承するための組織。構成員は、役員企業7社の後継者と同社の若手社員5人。鳶・土木・解体工など多様な技術を持ち合わせた20～40代のメンバーからなる。

【作品：The Woman with Terrestrial Malady】





【展示概要】

展示会名 | 蟄伏: グローバル若手アーティストたち

会期 | 2025年2月11日(火) ~ 2月16日(日)

時間 | 10:00~18:00 (初日 13:00 から最終日 17:00 まで)

場所 | 京都市京セラ美術館 本館2階 南西

【作品概要】

タイトル: "The Woman with Terrestrial Malady"

人魚は謎めいた存在として、古今東西、多くの人々の想像力をかき立ててきました。その描かれ方は時代や文化によってさまざまで、神秘的であると同時に、不気味さを感じさせることもあります。現代では、人魚はしばしば女性的で美しく、誘惑の象徴として描かれることが多い一方で、過去には怪物や神話的なモチーフとしての側面が強く見られました。この多様なイメージは、それぞれの時代に生きる人々の欲望や幻想を反映しています。では、今日における人魚の象徴とは、どのようなもののでしょうか？

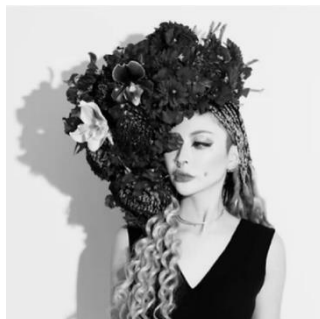
安部公房の『第四間氷期』では、海面上昇に対抗するため、人類が遺伝子改造を施し、「水棲人間」として生き延びる未来が描かれています。それは、人類が人魚へと進化する可能性を示唆し、人魚が単なる幻想ではなく、未来の人類像を象徴する存在である可能性を示しています。

この作品において、人魚は神秘、誘惑、不気味さ、さらには終末論的なモチーフとして表現されています。頭部は作家自身の外見を模していますが、顔を持たず、抽象的な形を取っています。この顔のないデザインは、個人のアイデンティティが性別へと還元され、「女性」というラベルで定義される過程を象徴しています。こ

の抽象化のプロセスは、人間が抱える複雑な問題からの逃避の手段であると同時に、現代社会において調和とバランスを保つ数少ない方法のひとつとして機能しています。

人魚というモチーフを通して、この作品は、現代のアイデンティティ、進化、そして社会的幻想が交錯する新たな神話を紡ぎ出します。この顔のないデザインは、現代の匿名性や、社会によって固定化されたジェンダーイメージに対するささやかな批評として機能しているのです。

【アーティスト profile】



REMA

2021 -京都芸術大学 修士課程美術工芸領域映像メディア分野修了

2024.4-「東京都」（寺田倉庫 What cafe/東京）キュレーション：鬼大名

2023.10-「neo BOTANICAL」（阪急うめだ百貨店／大阪）個展

2023.3~2024.3-「ART SCRANBLE」（グランフロント大阪／大阪）屋外大型彫刻展示中

2023.3-「ARTISTS' FAIR KYOTO 2023」（京都新聞社印刷工場跡地／京都）

2022.11-「異物」（日本橋アナーキー文化センター／東京）キュレーション：後藤繁雄＋ミハラヤスヒロ

（このプレスリリースに関するお問い合わせ）

株式会社杉孝 広報担当：福家（ふけ）・豊田（とよた） soumu@sugiko.co.jp

[TEL:045-444-0835](tel:045-444-0835)